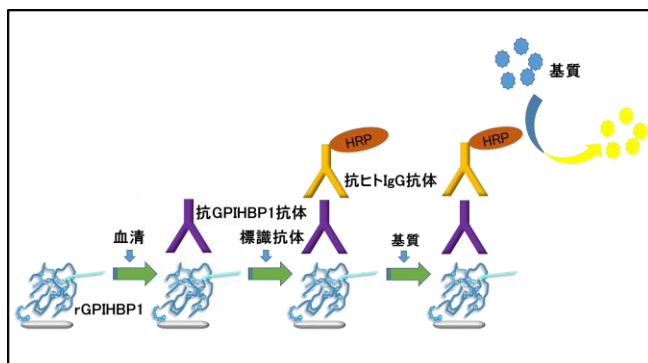
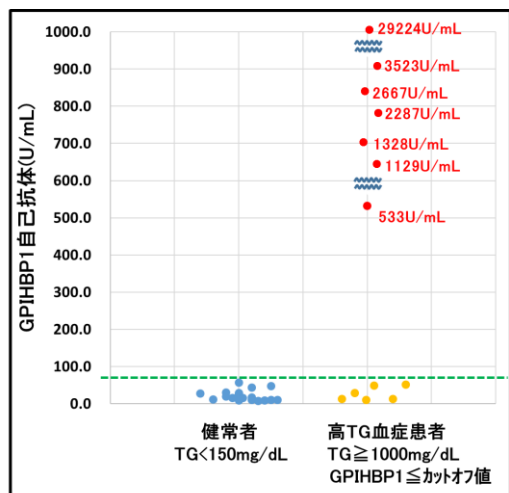


高TG血症の原因として現在までに知られている最も一般的なものは、LPLの遺伝的欠損症や機能異常であり、LPLの異常はカイルミクロンや超低比重リポ蛋白(VLDL)のTG代謝の障害をもたらす結果 高TG血症になると考えられています。高TG血症を引き起こす原因としては、LPL 欠損や異常の他、LPL活性化因子であるApo C2の欠損やApo A5の変異等が知られています。しかしながら、原因が明らかではない高TG血症の症例も少なからず存在することから、新たな機序の研究が進められてきました。

一方、GPIHBP1は毛細血管内皮細胞膜上に存在するアンカー蛋白であり、脂肪細胞や骨格筋細胞で合成・分泌されたLPLをトランスサイトシスにより血管内腔側へ運び内皮細胞表面に繫留することでTG-rich リポ蛋白(中性脂肪)の代謝に関与しています。LPL同様、GPIHBP1の遺伝子変異は1型高脂血症の原因となることから、GPIHBP1もTG-rich リポ蛋白の代謝において重要な役割を担っていることが明らかです。

近年、遺伝的欠損、変異の見られない高TG血症患者の血中に GPIHBP1に対する自己抗体が存在し、GPIHBP1に対する自己抗体が高TG血症の原因の一つになることがNEJMIに報告され(文献1) この新たな機序が注目されています。

製品コード	製品名	容量	価格 (税別)	測定範囲	検出 対象	測定対象			
						血清	EDTA-血漿	ヘパリン血漿	ポストヘパリン血漿
27267	Human GPIHBP1 Autoantibody Assay Kit - IBL	96 well	¥120,000	0.008 ~ 0.500 U/mL	Human	○	○	○	○



測定原理(抗原固相化ELISA)

(左図、上図 出典): 第50回(2018年)日本動脈硬化学会 ポスター発表

【参考文献】

1. Beigneux, A. P., Miyashita, K., Ploug, M., Blom, D. J., Ai, M., Linton, M. F., Young, S. G. Autoantibodies against GPIHBP1 as a Cause of Hypertriglyceridemia. *New England Journal of Medicine*, 2017 Apr 27; 376(17): 1647-1658.
2. Miyashita, K., Fukamachi, I., Machida, T., Nakajima, K., Young, S. G., Murakami, M., Nakajima, K. An ELISA for quantifying GPIHBP1 autoantibodies and making a diagnosis of the GPIHBP1 autoantibody syndrome. *Clinica Chimica Acta*, 2018

RUO 掲載の製品は研究用試薬です。研究用目的にのみご使用ください。診断、治療目的には使用できません。

取扱い販売代理店